

平成23年度 事業実績

1 文化芸術の創造及び発信

(1) 『県民芸術祭』の企画運営

県民芸術祭運営委員会の開催	◇期 日／ 平成24年3月16日（金） ◇会 場／ 群馬県生涯学習センター
県民芸術祭の円滑かつ効果的な運営を図るため、文化芸術団体・文化施設・報道機関の代表者と行政、学識経験者で構成する運営委員会を開催した。 また、県民芸術祭を県民に周知するための広報を行った。	
県民芸術祭特別委員会の開催	◇期 日／ 平成24年3月8日（木） ◇会 場／ 群馬県生涯学習センター
県民芸術祭に参加・協賛を希望する事業(団体)の審査を行った。	
群馬県展(写真展、大茶会、華道展、美術展、書道展)運営	
美術、書道、写真、華道及び茶道に対する創造意欲と鑑賞力を高め、県民文化芸術の向上に資するため、県展を開催した。 また、各展覧会の企画・運営にあたっては下記の団体が主体的に実施した。	
[第59回群馬県写真展覧会] (実施主体) 群馬県写真文化協会	◇期 日／ 平成23年10月9日(日)～16日(日) ◇会 場／ 群馬県庁県民ホール ◇出展数／ 413点 ◇入場者／ 13,513人
[第57回群馬県大茶会] (実施主体) 群馬県茶道会	◇期 日／ 平成23年10月16日(日) ◇会 場／ 臨江閣(前橋市) ◇参加者／ 9席(高校生席1席含) ◇入場者／ 3,515人
[第62回群馬県華道展覧会] (実施主体) 群馬県華道協会	◇期 日／ 平成23年10月27日(木)～11月1日(火) ◇会 場／ 高崎高島屋 ◇出展数／ 県内34流派 378点 ◇入場者／ 7,018人
[第62回群馬県美術展覧会] (実施主体) 群馬県美術会	◇期 日／ 平成23年11月14日(月)～23日(水・祝) ◇会 場／ 群馬県立近代美術館 ◇出展数／ 935点 ◇入場者／ 9,791人
[第62回群馬県書道展覧会] (実施主体) 群馬県書道協会	◇期 日／ 平成23年11月27日(日)～12月13日(火) ◇会 場／ 群馬県立近代美術館 ◇出展数／ 2,196点 ◇入場者／ 9,504人
県民芸術祭 参加事業・協賛事業への支援	
[第60回記念連盟展] (実施主体) 群馬美術家連盟	◇期 日／ 平成23年 6月15日(水)～22日(水) ◇会 場／ 前橋市民文化会館 ◇展示数／ 360点 ◇入場者／ 2,627人
[第34回群樹展] (実施主体) 日本盆栽協会 群馬県支部連合会	◇期 日／ 平成24年1月13日(金)～15日(日) ◇会 場／ 群馬県庁県民ホール ◇展示数／ 115点 ◇入場者／ 3,500人
[第51回群馬県合唱コンクール] (実施主体) 群馬県合唱連盟	◇期 日／ 平成23年7月31日(日) ◇会 場／ 藤岡市みかぼみらい館 ◇出演数／ 21団体 ◇入場者／ 1,329人
[第53回群馬県吹奏楽コンクール] (実施主体) 群馬県吹奏楽連盟	◇期 日／ 平成23年7月30日(土)～ 8月 2日(火) ◇会 場／ 群馬音楽センター ◇出演数／ 115団体 ◇入場者／ 8,283人
[第35回ぐんまバレエフェスティバル] (実施主体) 群馬県洋舞連盟	◇期 日／ 平成23年10月 9日(日) ◇会 場／ 伊勢崎市文化会館 ◇出演数／ 10団体 ◇入場者／ 1,000人
[第35回民族舞踊発表会] (実施主体) 群馬県フォークダンス協会	◇期 日／ 平成23年12月 4日(日) ◇会 場／ ベイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇出演数／ 26団体 ◇入場者／ 1,150人
[第44回民謡民舞発表大会] (実施主体) 群馬県民謡連盟	◇期 日／ 平成23年9月 4日(日) ◇会 場／ 前橋市民文化会館 ◇出演数／ 159団体 ◇入場者／ 2,170人
[第31回群馬県邦楽協会定期公演] (実施主体) 群馬県邦楽協会・上毛新聞社	◇期 日／ 平成23年10月 2日(日) ◇会 場／ ベイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇出演数／ 8支部 ◇入場者／ 550人
[第48回群馬県吟剣詩舞道大会] (実施主体) 群馬県吟剣詩舞道総連盟	◇期 日／ 平成23年11月 6日(日) ◇会 場／ 前橋市民文化会館 ◇出演数／ 32団体 ◇入場者／ 1,000人
[第68回美登利会公演] (実施主体) 直派若柳流 美登利会	◇期 日／ 平成23年6月12日(日) ◇会 場／ ベイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇出演数／ 45人 ◇入場者／ 1,500人
等 全96事業	

(2) 県民文化を支える担い手の育成

<p>文化・芸術事業立ち上げ支援等助成金</p>	
<p>県民の多様な文化に接する機会の提供と個性豊かな文化形成のための環境整備を図るため、県内の団体または個人が取り組む文化・芸術事業の立ち上げに対して助成金を交付した。</p>	
<p>第49回群馬県文学賞</p> <p>本県における文学活動の振興を図るため、1年間の文学各部門の創作活動の中から、特に優れたものを選奨した。 今年度は短歌・俳句・詩・随筆の4部門(小説・評論・児童文学は該当者なし)に受賞。 50回という節目を迎えるに当たり、必要な見直しを進めた。 なお、「群馬県文学賞作品集」も刊行した。</p>	<p>■表彰式 〔期日〕平成23年11月17日(木) 〔会場〕群馬県庁昭和庁舎正庁の間</p> <p>■受賞者 ○短歌 / 竹内敬子 『生きて今あり』(30首) ○俳句 / 山崎昌彦 『希望』(30句) ○詩 / 鶴田初江 『カワガラス』他4編 ○随筆 / 中西文家 『風、ふたたび』</p>
<p>第30回ぐんま新人演奏会</p> <p>本県音楽界の新人に広く発表の機会を提供し、優れた音楽家を育成するとともに、本県音楽文化の振興を図る。群馬音楽協会と共催で実施した。 ぐんま新人演奏会の出演は、ぐんま新人演奏会公開オーディション(ピアノ、声楽、オーケストラ楽器・作曲の各部門)で選考した。</p>	<p>■公開オーディション 〔会場〕群馬県生涯学習センター多目的ホール ◇平成23年8月23日(火)ーピアノ部門 ー参加者10人 ◇平成23年8月24日(水)ー声楽部門 ー参加者14人 ◇平成23年8月25日(木)ー作曲部門 ー参加者1人 ーオーケストラ楽器部門 ー参加者15人</p> <p>■演奏会 〔期日〕平成23年11月23日(水・祝) 〔会場〕ペイシア文化ホール(群馬県民会館) 〔入場者〕762人 〔出演者〕 ○ピアノ部門 3人 ○声楽部門 4人 ○作曲部門 1人 ○オーケストラ楽器部門4人</p>
<p>新進演奏家支援事業 -グリーンコンサート-</p> <p>ぐんま新人演奏会に出演した新進気鋭の若手音楽家に発表の機会を提供することにより、本県音楽文化の振興を図るとともに、音楽を通して県民が気軽に芸術にふれられる場を提供した。</p>	<p>◇期 日 / Opus1 平成23年 8月12日(金) ◇入場者 / 180人 Opus2 平成23年12月 9日(金) ◇入場者 / 150人 ◇会 場 / 群馬県生涯学習センター ◇出演数 / Opus.1 高橋瑠美(ピアノ)、佐藤歌純(ソプラノ)、 猿谷友規(バリトン) Opus.2 遠藤翠(ピアノ)、新井晶子(ソプラノ)、 野崎りいな(ヴァイオリン)</p>
<p>ティーンエイジャーコンサート エピソード2</p> <p>学生(大学・短大・高校生)が企画と広報に分かれ、コンサートの構成や広報宣伝などの制作を主体的に行う市民参加型コンサートの第2弾。 公募による学生スタッフ主導により、6月～12月にかけて定期的に運営会議を開催し、出演者であるジャズピアニスト「山中千尋」を交え、コンサートの構成・企画や広報宣伝戦略を検討実施した。</p>	<p>◇期 日 / 平成23年12月18日(日) ◇会 場 / ペイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇入 場 者 / 975人 〔プログラム〕 第一部 山中千尋の「楽しさ満載!ジャズ講座」 第二部 山中千尋ジャズライブ</p>
<p>演劇制作事業 ※経費一部・(財)地域創造補助事業を活用した</p> <p>県民に演劇への参加・発表の機会を提供し、県内における舞台芸術・振興・発展を図るとともに、地域で活躍する演劇制作のスタッフを養成した。 また、演劇『絹の国から』～紡がれた思いを繋げるために～を通して、近代群馬の発展に寄与した養蚕・製糸、その時代の人々などを広報することで、世界遺産を目指す「富岡製糸場と絹産業遺産群」を側面から支援した。</p>	<p>■「絹の国から」キャストオーディションー合格者35人 〔期日〕平成23年7月10日(日) ■キャスト練習 〔期日〕平成23年9月11日～平成24年3月11日 14回 ☆「絹の国から」アトリエ公演 〔期日〕平成24年3月11日(日)〔入場者〕120人 ■演劇ワークショップ ー受講者19人 〔期日〕平成23年8月20日(土)、21日(日)、27日(土) ■養蚕体験講座 ー受講者19人 〔期日〕平成23年7月2日(土)、30日(土) ■舞台スタッフ養成講座 ー受講者23人 〔期日〕平成23年7月23日(土)、8月6日(土) ■大道具製作体験講座 ー受講者12人 〔期日〕平成24年3月3日(土)、10日(土)、11日(日) 〔会場〕群馬県生涯学習センター</p>
<p>山崎種二記念特別賞</p> <p>本県文化芸術の振興・奨励、若手作家の発掘・育成を目的として、山崎種二記念特別賞を実施した。募集は県展出品公募と一緒に実施し、美術・書道・写真の各1点を表彰した(賞金あり)。</p>	<p>■表彰式 ○写真部門〔表彰式〕平成23年10月16日(日) ○美術部門〔表彰式〕平成23年11月20日(日) ○書道部門〔表彰式〕平成23年12月10日(土) ※表彰式は県展各部門の表彰式の中で行った。 ■受賞者 ○写真部門 / 富澤洋一 『大東京遊覧』 ○美術部門 / 坂本幸重 『墨魚』 ○書道部門 / 小倉鈞雲 『寒山詩』</p>

2 文化芸術を育む環境づくり

(1) 優れた文化芸術鑑賞機会の提供

オペラレクチャー 「知っておきたいオペラ20選」vol.2、3 著名なオペラを数回に分けて紹介する2、3回目。ウーロン亭ちや太郎をナビゲーターに、アリアや内容の解説を盛り込んだレクチャーコンサートを開催し、音楽文化の向上を図った。出演は、ちや太郎オペラカンパニーと、ぐんま新人演奏会出演者、諸田宏美(vol. 2)、今井俊輔(vol. 3)	◇期 日／ vol.2 平成23年7月24日(日) vol.3 平成23年12月10日(土) ◇会 場／ ペイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇入場者／ 440人 ◇出演者／13人
群響特別演奏会 ゲストに前橋汀子を迎えた群馬交響楽団による演奏会を実施し、音楽文化の向上を図った。	◇期 日／ 平成24年2月12日(日) ◇会 場／ ペイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇入場者／ 979人 ◇出演者／59人
群響コンサート 群馬交響楽団による演奏会を開催することにより、県民の音楽に対する関心を高め、本県音楽文化の振興を図った。	◇期 日／ 平成23年9月25日(日) ◇会 場／ ペイシア文化ホール(群馬県民会館) ◇入場者／ 606人 ◇出演者／78人
群響企画コンサート 【森とオーケストラ】 昭和の日に群馬の森で群響の野外演奏会を開催した。	◇期 日／ 平成23年4月29日(金・祝) ◇会 場／ 群馬の森野外特設ステージ ◇入場者／8,000人
【群響サマーコンサート】 毎年8月に開催される草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルの前夜祭として開催した。	◇期 日／ 平成23年8月14日(日) ◇会 場／ 藤岡市みかぼみらい館 ◇入場者／ 689人
県民音楽のひろば 群馬交響楽団による演奏会を県内各地の文化施設7カ所で開催し、県民の音楽に対する関心を高め、本県音楽文化の振興を図った。	
①[玉村町文化センター]	◇期 日／平成23年6月12日(日) ◇入場者／809人
②[桐生市市民文化会館]	◇期 日／平成23年9月10日(土) ◇入場者／1,024人
③[伊勢崎境総合文化センター]	◇期 日／平成23年10月8日(土) ◇入場者／611人
④[かぶら文化ホール]	◇期 日／平成23年12月4日(日) ◇入場者数／843人
⑤[渋川市民会館]	◇期 日／平成24年1月9日(月・祝) ◇入場者数／651人
⑥[榛名文化会館エコール]	◇期 日／平成24年2月11日(土・祝) ◇入場者／436人
⑦[利根沼田文化会館]	◇期 日／平成24年2月26日(日) ◇入場者／573人

(2) 子どもたちの豊かな心を育む文化芸術活動の推進

TBSこども音楽コンクール 全国規模の小中学生を対象としたTBSの公開放送番組・こども音楽コンクールの地区大会をTBSと共催で開催した。	◇期 日／平成23年8月9日(火) ◇会 場／ペイシア文化ホール(群馬県民会館) 大ホール ◇入場者／1,600人
--	---

(3) 県民文化を支える企業・団体との連携・活動支援

文化・芸術活動協力(共催・後援)	
実質的な共催者、あるいは後援による運営協力を行う中で、効果的な事業PRを図り、文化芸術活動参画者の拡大を助長した。	
[TOWA県民文化講座]	◇期 日／平成23年11月12日(土) ◇会 場／ベシア文化ホール(群馬県民会館)小ホール ◇入場者／196人
県民の教養・文化の高揚に資するため、東和銀行と共催して、各界エキスパートによる講演会を実施しているが、本年度は、元TBSアナウンサーの山本文郎氏を招き、「楽しい話し言葉」と題した講演会を開催した。	
[FMぐんま公開放送事業] ※事業活性化基金を活用した	*◇期 日／平成23年5月7日(土) *◇会 場／ベシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール *◇入場者／500人
FMぐんまと共催で、「新 映画ドラえもん のび太と鉄人兵団～はばたけ天使たち～」アンコール上映会を開催した。実施にあたり群馬セキスイハイム株式会社の協賛を得た。 *震災の影響で延期(平成22年度事業分)内容:「-ROOKIES- 卒業」	◇期 日／平成24年2月26日(日) ◇会 場／ベシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール ◇入場者／1,500人
文化団体活動支援(「群馬県文化協会連合会」事務局の運営)	
地域文化の再発見、文化の継承、新しい文化の創造を目的として活動している群馬県文化協会連合会の活動を支援した。また、県内各文化団体との連絡・調整、相談等に当たった。	
[群馬県文化協会連合会 総会]	◇期 日／平成23年6月29日(水) ◇会 場／群馬県生涯学習センター 多目的ホール ◇参加者／146人
[群馬県文化協会連合会創立30周年記念事業] [群馬県文化協会連合会 研究集会]	◇期 日／平成24年2月2日(木)～3日(金) ◇会 場／伊香保 ホテル天坊 ◇参加者／192人(宿泊) 57人(日帰り)
[地域文化フェスティバル]	◇期 日／平成24年2月25日(土)～26日(日) ◇会 場／吾妻文化会館 ◇入場者／1,300人 ◇内 容／・舞台部門(民謡、舞踊、合唱、合奏、吟詠、郷土芸能等) ・展示部門(書道、絵画、俳句、陶芸等)
①あがつま文化フェスティバル	
②伊勢崎佐波地域文化フェスティバル	◇期 日／平成24年2月25日(土)～26日(日) ◇会 場／伊勢崎市文化会館 ◇入場者／3,700人 ◇内 容／・舞台部門(邦楽舞踊、郷土芸能、民謡民舞、吟詠詩舞、歌謡、音楽、洋舞) ・展示部門(美術、書道、写真、華道、文学、自然、諸芸、茶道)
参加団体会場費補助	
県域文化団体の文化芸術活動の振興と、県民芸術祭の活性化を図るために、会場費の一部を補助した。	通年
芸術・文化の街づくり懇談会	
県内文化芸術の主要な情報発信拠点である「群馬県民会館」周辺について、商店会、自治会、関係団体等と連携し、地域の活性化に向けた検討・実践を進めた。	■沿道花(プランター)の装飾事業[春] [期日]平成23年5月15日(日) ■沿道花(プランター)の装飾事業[秋] [期日]平成23年11月20日(日)
企業(団体)協賛事業	
企業・民間団体等の支援を得て、優れた文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、利用者の立場に立った文化的環境作りや、個性豊かな文化芸術事業の展開を図った。	通年

(4) 機関誌・情報誌の発行

「上州文化」発行	
県民に広く県内の文化情報を提供し、併せて優れた内外の舞台芸術を紹介し、文化への関心と参加意欲の向上を図るため、事業団の機関誌として冊子を作成した。	◇期 日／平成23年5月・8月・11月・平成24年2月季刊発行 ◇発行部数／14,000部(3,500部／1回) ◇配布先／文化施設、図書館、美術博物館、公民館、関係機関等
文化情報誌「文化通信」発行	
県民の文化芸術活動の啓発・支援をするため、ベシア文化ホールで開催される事業をはじめとして多様な文化情報を広く県民に提供した。	◇期 日／2ヶ月に1回発行 ◇発行部数／120,000部(20,000／1回) ◇配布先／一般、文化芸術団体、企業、市町村、文化施設、教育関係施設等
「ホームページ」の運営	
WEB上で事業団概要や事業内容等を広報した。	通年

3 伝統文化の保存(守り)・継承(伝え)・発展(育てる)

(1) 現状把握・分析

「ぐんま地域文化マップ」の運営	通年
県内の民俗芸能、祭り・行事の置かれた現状を正しく把握し、WEB上で情報発信をすることにより伝統文化への関心を高めた。	
伝統芸能・行事・祭等調査	◇調査期間 / 平成23年7月～9月 ◇対象団体 / 県央・多野藤岡地域の郷土芸能団体 (獅子舞または神楽)
人形芝居連絡協議会・ 伝統歌舞伎保存協議会 出席	■平成23年度 ぐんま人形芝居連絡協議会 出席 [期日] 平成23年5月27日(金) [会場] みなかみ町公民館 ■平成23年度 群馬県伝統歌舞伎保存協議会理事会 出席 [期日] 平成23年6月10日(金) [会場] 白沢公民館

(2) 後継者育成と普及活動

小中学校伝統芸能教室	■「尻高人形」一参加者371人 [期日] 平成23年10月12日(水) [会場] 高山村立高山小学校 ■「八城人形」一参加者191人 [期日] 平成23年10月25日(火) [会場] 安中市立秋間小学校 ■「下牧人形」一参加者126人 [期日] 平成23年11月11日(金) [会場] みなかみ町立桃野小学校 ■「沼須人形」一参加者106人 [期日] 平成23年12月16日(金) [会場] 沼田市立利根東小学
[人形芝居] 小中学生に人形芝居の鑑賞・体験の機会を提供することにより、日本古来の伝統文化、伝統芸能への関心を高め、豊かな情操を養うことを目的に、人形芝居座の残る地域4か所で行った。	
[邦楽-日本舞踊-] 小中学生に邦楽(日本舞踊)の鑑賞・体験の機会を提供することにより、日本古来の伝統文化、伝統芸能への関心を高め、豊かな情操を養うことを目的に、毎年県内1か所で行った。	◇期 日 / 平成23年7月19日(火) ◇会 場 / 草津音楽の森国際コンサートホール ◇参加者 / 202人
人形芝居活性化事業 ※文化庁補助事業として採択 県内の各地域に残る人形芝居の各座所在地域を会場に、義太夫教室を開催することにより、人形芝居の継承の一助とした。 地域力再生等、伝統文化の持つ大きな役割を広く県民に普及することを目的に、人形芝居座が残る地域以外への出張公演として、4座を一堂に会したワークショップ公演を実施した。 また、経年劣化で傷み、活動を休止している津久田人形の首、手、足、衣裳の一部を修復、新調し、公演で「ぐんま人形芝居公演」で人形の展示、人形拵え、鬘の結び上げ公開を行った。	■沼須人形(沼田市)一参加者 6人 ◇稽古期間 平成23年8月22日～平成24年2月27日 ■下牧人形(みなかみ町)一参加者 7人 ◇稽古期間 平成23年8月26日～平成24年2月24日 ■尻高人形(高山村)一参加者 10人 ◇稽古期間 平成23年8月25日～平成24年2月23日 ■八城人形(安中市)一参加者 6人 ◇稽古期間 平成23年9月10日～平成24年2月25日 ■津久田人形修繕 ◇期間 平成23年9月～平成24年3月25日 ◇内容 首裕福、男手・女手、足、胴輪、衣裳の新調 ■ぐんま人形芝居ワークショップ [期日] 平成24年2月11日(土) [会場] ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 展示室 [入場者] 100人
伝統歌舞伎活性化事業 ※文化庁補助事業として採択 地域に遺る伝統歌舞伎の継承を目的に子どもを対象とした歌舞伎伝承教室を開催し、成果発表の機会も兼ねた公演を実施した。 また、経年劣化で傷む横室歌舞伎衣裳の保存、修復に関する調査を行い、報告書を作成した。	■みなかみ歌舞伎保存会歌舞伎教室一参加者19人 ◇稽古期間 平成23年8月21日～12月21日 ■横室歌舞伎保存会歌舞伎教室一参加者10人 ◇稽古期間 平成23年9月3日～2月25日 ■平出歌舞伎保存会歌舞伎教室一参加者10人 ◇稽古期間 平成23年10月14日～3月2日 ■歌舞伎公演 [期日] 平成24年2月26日(日) [会場] ながめ余興場 [入場者] 307人 ■横室歌舞伎衣裳調査 ◇期間 平成23年9月～平成24年2月28日 ◇専門調査 平成24年2月25日(土)～28日(火) ◇専門調査員 長崎 巖(共立女子大学教授) 西井智美(共立女子大学助手)
ぐんま郷土芸能の祭典	■伝統歌舞伎公演 [期日] 平成24年1月28日(土) [会場] ベイシア文化ホール(群馬県民会館) [入場者] 152人 ■ぐんまの民謡公演 [期日] 平成24年1月29日(日) [会場] ベイシア文化ホール(群馬県民会館) [入場者] 158人
県内に残る伝統歌舞伎や子ども歌舞伎の発表の場の提供と県内の郷土芸能の出演による祭典を開催した。	

(3) 保存・継承・発展に向けた実践活動

ワークショップ (活動復活・継承課題解決等)	
伝統文化継承の問題点についての意見交換や、継承に向けた新たな取り組み、また継承に課題を持つ地域など個々の地域の実情に応じたコーディネーター派遣によるワークショップを行った。	
ワークショップ 「吉田西里神楽保存会 篠笛の継承と保存」	◇期 日／平成23年6月11日(土)～9月17日(土)全6回 ◇会 場／大泉町吉田西公民館 ◇参加者／11人
パフォーマンス 「神楽太鼓×コンテンポラリーダンス」	◇期 日／平成23年12月3日(土) ◇会 場／伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ ◇入場者／65人
子ども体験ワークショップ 「お神楽を楽しくおどってみよう！～フシギな小槌で、お猿や狐、姫や鬼も出てくるよ！～」	◇期 日／平成23年12月4日(日) ◇会 場／伊勢崎市赤堀公民館 講堂 ◇参加者／11人
ワークショップ 「邑楽郡伝統芸能実践者座談会 衰退の要因と解決策を探る」	◇期 日／平成24年3月17日(土) ◇会 場／邑楽町長柄公民館 ◇参加者／14人
ワークショップ 「野殿白山比咩神社太々神楽の活動継続の検証について」	◇期 日／平成24年3月18日(日) ◇会 場／安中市野殿白山比咩神社 ◇参加者／10人
伝統芸能ネットワーク支援・地域おこし支援	
[伝統芸能まつり] 郷土芸能団体に発表の場を提供するとともに、広域市町村を単位に同種芸能団体のネットワーク化を支援し、情報交換の場を提供した。	■獅子舞大会 【期日】平成23年12月3日(土) 【出演】県央・多野藤岡地域の獅子舞団体 【会場】伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ 【入場者】500人 【出演】15団体 ■神楽大会 【期日】平成23年12月4日(日) 【出演】県央・多野藤岡地域の神楽団体 【会場】伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ 【入場者】325人 【出演】9団体
[篠笛講習会] 民俗芸能に欠かせない篠笛の基本的奏法と笛の採譜講習を通じて後継者育成並びに技術の向上を図るとともに、団体間のネットワークづくり・情報交換の場を提供した。また一般参加者への伝統芸能への認知・理解を深めた。	◇期 日／平成24年2月4日(土)～3月3日(土) 午前の部・午後の部 各5回 ◇会 場／群馬県生涯学習センター会議室 ◇参加者／午前の部 34人、午後の部 8人

4 文化芸術振興のための拠点施設の運営

〈ベイシア文化ホール(群馬県民会館)〉

(1) 管理・運営

施設の管理、利用促進	通年
公正・公平な貸し出しを行うほか、状況に応じ開館時間を早める等利用者の利便向上を図った。また、必要な修繕や清掃・空調運用を適切に行う等安全で快適な施設の維持管理を図った。さらに近隣への迷惑防止のため路上駐車防止対策に取り組んだ。	
安全管理	通年
法定点検を始め専門業者による保守点検を確実に実施するとともに、職員による日常点検のほか月1回の総点検を実施し、危険箇所の早期把握と早期の対応により安全で快適な施設利用を図った。	

(2) 文化芸術事業振興のための施設利用の促進

文化芸術活動に対する施設貸与	通年
文化芸術活動に対する施設貸与を促進し、文化芸術活動参画を助長するほか、ホール・展示室・会議室の空き状況やわかりやすい利用料案内等、適切な情報提供と窓口処理の迅速化に努め、施設利用に伴う様々なサービスの充実を図った。	
群馬県公立文化施設協議会との連動	通年
県公立文化施設協議会活動を通じ県内文化施設との連携を強め、円滑な情報交換による会館運営や事業実施のノウハウの共有化や、研修事業の充実による職員資質の向上を図ることで、県民の要望に応える会館運営につなげた。	
舞台・照明・音響の管理、操作、指導等	通年
大・小ホールの利用にあたっては、事前に主催者との間で十分協議・調整を行い、必要に応じ舞台・音響・照明の管理、操作について指導・支援を行い、安全で円滑な舞台運営を図った。	
県民芸術小劇場	
地域文化の芽を育てるため、公募により県内で舞踊、演劇、音楽等の芸術文化活動を展開するアマチュア団体に発表の機会を提供し、その活動の支援を図るとともに、人材育成を図った。〔会 場 / ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 小ホール〕	
①[ミュージカルユニットcabo公演](GANGSTARS3 the final)	◇期日 / 平成23年4月30日(土)・5月1日(日) ◇入場者 / 362人
②[長唄コンサート]	◇期日 / 平成23年9月11日(日) ◇入場者 / 265人
③[ミュージカルユニットcabo公演](～青散る～)	◇期日 / 平成23年9月23日(金・祝)・24日(土) ◇入場者 / 291人
④[宝生流を楽しむ「謡・仕舞・舞囃子の会」]	◇期日 / 平成24年2月 5日(日) ◇入場者 / 160人
親子バックステージツアー	■第1回〔期日〕 平成23年8月22日(月) 〔会場〕 ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 〔参加者〕 23組 53名(子ども29名 保護者15名) ■第2回〔期日〕 平成24年1月 7日(土) 〔会場〕 ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 〔参加者〕 11組 35名(子ども18名 保護者18名)
小学生を対象に、普段見たり触れたりすることのできない文化ホールの舞台裏を見学したり照明・音響機器の操作を体験してもらう機会を提供し、文化施設を身近に感じてもらう舞台芸術に対する関心を高めた。	
舞台設置アドバイス	通年
利用者に舞台・照明・音響の基本から演出効果をねらった専門的な取扱い(仕込み)まで、具体的なアドバイスをを行い舞台作りを支援した。	
芸術文化サロン “風の広場”	通年
事業団が発行する各種事業の広報資料、文化情報誌・機関誌、フラワーショップやコンビニなどの周辺情報、県内の観光・宿泊施設を掲載したパンフレット、文化芸術に関する雑誌や入門書などの書籍、モニターTVを備えたサロンを設置し、賑わいのあるスペースを創出し利用者の利便性の向上を図った。	

(3) 自主企画文化芸術鑑賞事業の実施

<p>おかあさんといっしょ ポコポッテイトがやってきた！！</p> <p>NHK教育テレビでお馴染みの子ども向け人気番組。こどもたちに大人気のポコポッテイトの仲間たち(ムテ吉・ミーニャ・メーコブ)と、坂田おさむ、滝本瞳が繰り広げる歌や踊りなど、ステージと会場が一体となって盛り上がるファミリーコンサートを開催した。</p>	<p>◇期 日／平成24年1月21日(土) ※2回公演 ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール ◇入場者／3,235人</p>
<p>オペラ「カルメン」 ※事業活性化基金事業</p> <p>300年の歴史と伝統を誇るオーストリアの名門ウィーンの名門バーデン市劇場により、オペラ史に燦然と輝くビゼーの最高傑作「カルメン」を上演した。</p>	<p>◇期 日／平成23年9月29日(木) ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール ◇入場者／1,029人</p>
<p>群馬県史跡で聴く歌舞伎音楽 ※文化庁補助事業として採択</p> <p>邦楽を聞く機会が少なくなった昨今、地域住民を対象とした出前公演を行い、歌舞伎音楽への興味関心を高めた。</p>	<p>◇期 日／平成23年10月2日(日) ◇会 場／太田市立緑切寺満徳寺資料館復元本堂 ◇入場者／170人</p>
<p>大谷康子&藤井一興 デュオコンサート</p> <p>多彩な音楽活動を続ける実力派ヴァイオリニスト大谷康子とピアニスト藤井一興によるデュオコンサートを開催した。</p>	<p>◇期 日／平成23年10月29日(土) ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)小ホール ◇入場者／358人</p>
<p>宝生流能楽鑑賞会 ※文化庁補助事業として採択</p> <p>世界無形文化遺産に指定された能楽公演を実施することにより、日本の伝統芸能の鑑賞機会を提供した。また、公演前に演目等に関するワークショップを開催し能楽への理解を図った。</p>	<p>◇期 日／平成24年2月19日(日) ◇入場者／457人 ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール ■能楽講座 ◇期 日／平成23年11月20日(日)、12月23日(金・祝) ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)会議室 ◇入場者／84人 ■能楽ワークショップ ◇期 日／平成23年12月10日(土)、平成24年1月15日(日) ◇会 場／ベイシア文化ホール(群馬県民会館)展示室 ◇入場者／66人</p>

5 高等学校等奨学金貸与事業

(1) 貸与

<p>高等学校等奨学金貸与事務</p>		
<p>親権者等が群馬県に在住し、高等学校又は専修学校の高等課程に在学する優れた生徒であって、経済的理由により著しく修学が困難な者に対して、無利子で奨学金を貸与することについての事務を行った。</p>		
<p>採用種別</p>	<p>人 数</p>	<p>期 日</p>
<p>①予約採用 (中学3年生で高等学校等に進学する生徒)</p>	<p>43 人</p>	<p>平成22年11月</p>
<p>②定期採用 (高等学校等に在学している生徒)</p>	<p>58 人</p>	<p>計 平成23年4月～5月</p>
<p>③緊急採用 (家計急変により、緊急に奨学金を必要とする生徒)</p>	<p>0 人</p>	<p>101 随 時</p>
<p>④特別緊急採用 (20年10月以降、会社の倒産や解雇等により家計が急変した生徒)</p>	<p>0 人</p>	<p>人 随 時</p>
<p>⑤震災特別緊急採用 (東日本大震災により、群馬県に避難、転居してきた生徒)</p>	<p>0 人</p>	<p>随 時 (平成23年度内)</p>

(2) 返還

<p>高等学校等奨学金返還事務</p>		
<p>奨学金は、卒業・辞退・退学などにより貸与終了となり、貸与総額によって6年～14年間で返還することについての事務を行った。</p>		
<p>返還方法</p>	<p>人 数</p>	<p>期 日</p>
<p>①年賦返還 (年間返還額を、年1回で返還する。)</p>	<p>58 人</p>	<p>計 平成24年1月</p>
<p>②半年賦返還 (年間返還額を、年2回で返還する。)</p>	<p>207 人</p>	<p>279 平成23年7月、 平成24年1月</p>
<p>③一括返還 (返還総額を、一括で返還する。)</p>	<p>14 人</p>	<p>人 貸与終了翌月</p>